

年 月 日

病院

院長

先生

術後摘出組織について

拝啓 平素ご活躍のこととお慶び申し上げます。ご多忙のところ失礼申し上げます。

私は、貴院にて、

- ・ _____ の切除術を受けた _____ です。
- ・ _____ の切除を予定している _____ です。

この度、がん免疫療法の一つである「自家がんワクチン療法」を受診したいと考えており、ワクチン作製に必要な切除組織の提供につき、ご相談させていただきたく、この一文をさし上げます。

自家がんワクチンは、理化学研究所発・筑波大学発のベンチャー企業・セルメディシン株式会社が開発しているものです。がんのホルマリン/パラフィン固定組織上で患者自身の細胞傷害性 T リンパ球 (CTL) が誘導可能という発見から始まり、基礎研究、大学病院等における臨床研究を経て現在に至っております。術後肝がん再発抑制、術後膠芽腫の増悪抑制についてはかなりの効果が期待でき、また、他のがん種についても症例ベースでは治療効果が散見されておりますため、がんの補助療法として導入が試みられております。

このためには、私自身の摘出がん組織が原材料 (がん抗原用) として、大人の小指の 1/3 程度 (1.5g 以上、できれば 2g 以上、パラフィン包埋ブロックなら 3~4 個以上) が必要です。貴院にて摘出した原発巣および転移巣のパラフィンブロックもしくはホルマリン固定標本をお分けいただけませんか (未使用分に関しましては、後日ご返却いたします)。

お忙しい中で申し訳ありませんが、ご協力・ご検討くださいますよう、どうかよろしくお願い申し上げます。

敬具

追記：がん組織をご提供いただけます場合は、ホルマリン漬け・パラフィンブロックのいずれでも、私に直接お渡しくくださるか、または _____ 宛てにご郵送いただければたいへん有り難く存じます。

(貴院診察券番号) _____

(患者 氏名) _____

(患者自署署名、または、代理人自署署名) _____ 印

備考：全国各地のがんセンター、大学病院、がん拠点病院、赤十字病院等でも、加工されたがん組織 (パラフィン包埋ブロック) を患者に返却した実績があります。また、解剖臓器プレパレート保存使用貸借契約取消請求事件-医師側敗訴、の判例もあります (東京地裁 平成 12 年 11 月 24 日判決 (判例時報 1738 号 80 頁))